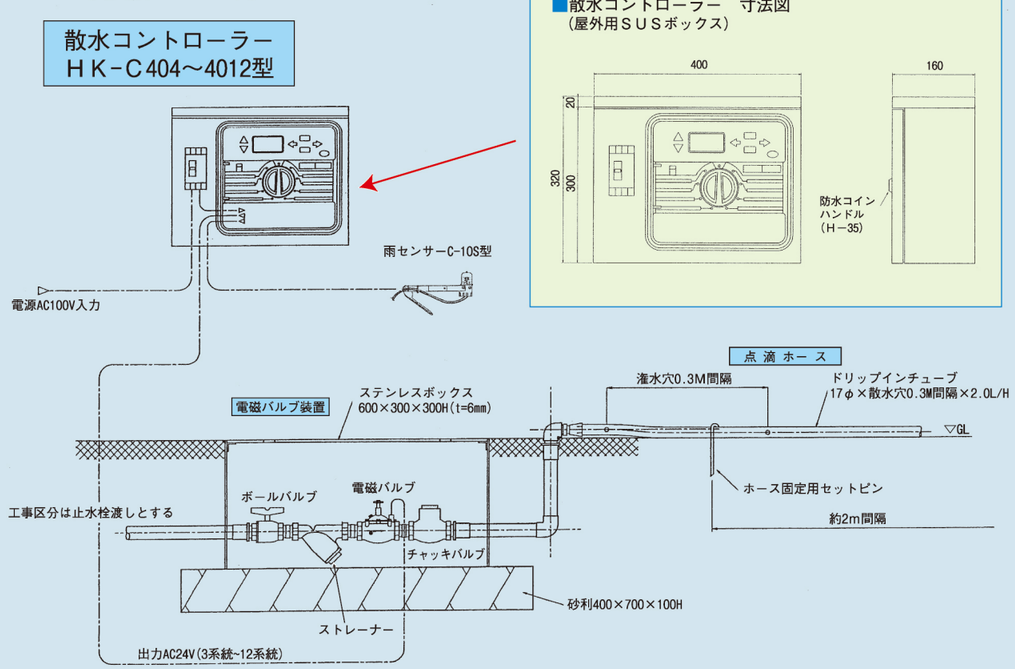
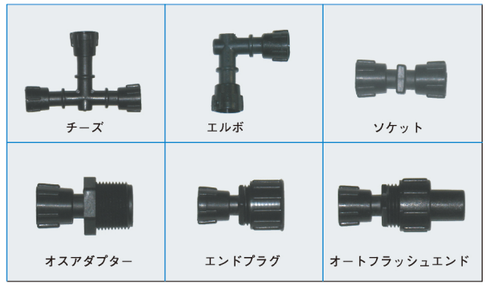
自動かん水システム

■かん水施設システム図

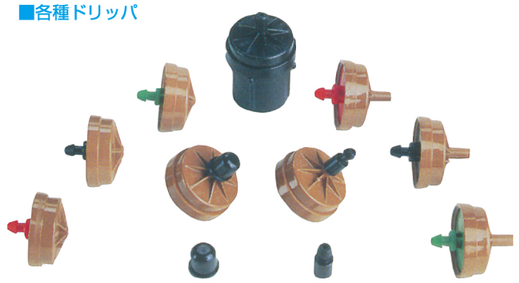


■散水コントローラー　寸法図
（屋外用ＳＵＳボックス）

■スピンロック式接手



■各種ドリッパ



バイオールパイプ



■バイオールパイプ仕様

呼び径	16mm（呼び径20mmタイプもあります）
外径	16.26mm
内径	13.97mm
肉厚	1.15mm
使用水圧	0.7kgf/cm²～4.2kgf/cm²
エミッター水量	2L/hまたは4L/h
エミッター間隔	30cm/45cm
外部フィルター	上水以外は150mesh必要
製造国	米国

延長可能距離　m					
エミッター水量		2L/h型		4L/h型	
エミッター間隔		0.3m	0.45m	0.3m	0.45m
入口水圧	1.0kgf/cm²	53m	75m	35m	50m
	1.8kgf/cm²	78m	112m	51m	74m
	2.5kgf/cm²	94m	135m	62m	89m
	3.2kgf/cm²	106m	152m	70m	101m

■バイオールパイプ（点滴ホース）の特長

1．目詰まりの少ない構造

バイオールパイプは独自のドリッパの構造がホース内に乱水流を起こす仕組みになっているため、目詰まりがきわめて少なく、液肥かん水も可能です。
また、中水・リサイクル水も使用できるので資源の節約になります。

2．均等な吐出流量

バイオールパイプは水圧の変化を自動的に補正する機能があるため、かん水区域の勾配や、かん水距離になどにより大きな影響を受けることがなく、全体の面積で100%に近いかん水が達成されます。

3．耐久性

材質は特殊製法により製造されたポリエチレンで、紫外線をカットし、耐候性に優れています。

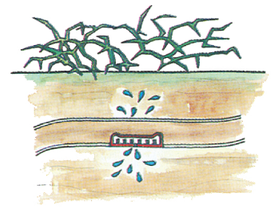
4．多種、多様な用途

バイオールパイプは、あらゆる土壌に適応、ローム土砂から人口土壌まで、また高木、低木、地被植物、芝生までのあらゆる土壌、植栽に対応します。

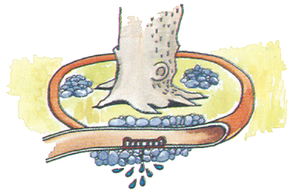
■メンテナンスと管理

1. 使用水圧
バイオールパイプは特殊継手により施工されますので、水圧の使用範囲があります。
適正水圧は0.1～0.3Ｍｐａ、適正範囲は、0.05～0.35Ｍｐａです。
2. ホースの伸縮
バイオールパイプは、材質がポリエチレンのため、寒暖によりホースの伸縮が相当ありますが、品質には問題がありません。
3. ホースの破損
バイオールパイプは、正常の水圧、適正な用途では破損することはありませんが、刃物など金属による接触には弱く、破損することがあります。また、ホースの折れ曲がりでも破損することがあります。
メンテナンスの方法は特殊継手（ソケットコネクターなど）により差し込むだけで簡単に修理できます。
4. 定期的な運転
バイオールパイプは、ホースとはいえ機械と同じです。定期的に散水することにより、長持ちします。
5. 定期的な維持管理
バイオールパイプは、ホースなどの破損により、水が吹き飛ぶというような現象があります。水漏れは均等な散水ができなくなります。最低年１～２回の定期的な点検整備が必要です。

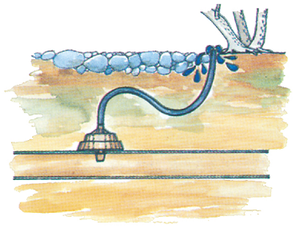
①芝生などは、ドリッパ内蔵のバイオールパイプを地下に埋設します。



②特に多くの水が必要なときは、バイオールパイプをループ状にし数箇所からかん水します。



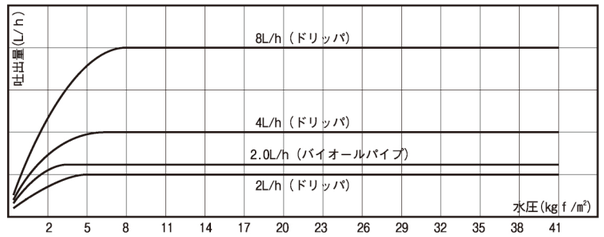
③大樹の場合、ホースに圧力補償ドリッパをはめ込み、必要量の水を供給します。



④プランター用の目立たないポットドリッパ。プランターの周囲を濡らさず必要量かん水します。



●水圧とドリッパの吐出量の関係（2.0L/hの場合及びドリッパ2,4,8L/hの場合）





所沢東部クリーンセンター



屋根部植栽設置